

手術支援ロボットを導入します ～より患者さんの負担を減らす高度な手術を提供～

1 目 的

より患者さんの負担を減らした高度な手術を提供するため、傷口が小さく出血量も少ない内視鏡手術の利点に加え、人の手より広い可動域と精密な動きが可能な手術支援ロボットを導入します。

2 導入機種

メドトロニック社 「H u g oTM（ヒューゴ）手術支援ロボットシステム」

3 特 徴

(1) オープンコンソール

術者が見ている操作画面を複数人で同時に確認できるオープンコンソールを採用しており、手術スタッフとのコミュニケーションや手元の操作確認が容易にとれます。



(2) 独立した4本のアーム

アームが1本ずつ独立して移動できるため、症例や患者さんに応じて柔軟な配置が可能となります。

4 適応診療科

泌尿器科、産婦人科、消化管外科

5 予算額

231,000千円

6 本システムの導入実績

全国で6病院 愛知県下では2番目の導入（令和5年10月末現在）

